



「浄土宗版会計ソフト」をご利用の皆様にお知らせ

平素は、「浄土宗版会計ソフト」をご利用いただき、ありがとうございます。

「浄土宗版会計ソフト」のご利用にあたり、一定条件下での不具合や「かんたん入力ガイド」に不記載の仕様に関してご説明すべき事項ができましたので、以下のとおりお知らせいたします。

(1) 「寺院作成」時に「期中」を選択されたご寺院について（お詫び）

「寺院作成」時に「期首」もしくは「期中」、どちらかから開始することを選択していただいております。

「かんたん入力ガイド」においては、「期首」から始めることをお薦めしておりますが、それでも「期中」から始めた場合において、収支計算書が正常に表示されないことが判明いたしました。誠に申し訳ありません。

「期中」を選択して開始されているご寺院におかれましては、入力状況に応じて対応方法をお伝えいたしますので、誠に恐れ入りますが、下欄の問合せ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(2) 複数の部門（会計）を設定して管理されているご寺院について

「浄土宗版会計ソフト」は、収支計算書を作成されておられないご寺院を主な対象として制作しました。

収支計算書を作成されておられないご寺院によっては、現金や預金を部門（会計）ごとに分けて管理されていないケースも想定し、まずは帳簿をつけることを始めていただけるよう、「浄土宗版会計ソフト」では部門別の現金預金を管理せず、寺院全体での管理の仕様となっております。

そのため、全体の収支計算書を出力する際は、「前年度現金預金残高」、「当年度現金預金残高」が表示されますが、複数の部門（会計）を設定して管理されているご寺院について、部門別の収支計算書を出力する際は表示されない仕様となっておりますので、ご注意ください。但し、一つの部門（会計）のみでのご利用の場合は問題ありません。

令和6年8月

浄土宗総務部

<問合せ先>

浄土宗総務部

〒605-0062 京都市東山区林下町400-8

TEL 075-525-0479（総務部直通）

FAX 075-531-5105

Mail somu@jodo.or.jp